



全産業業況 マイナス幅が縮小

令和3年4～6月 中小企業景況調査 結果報告書

当所では、藤枝市内小規模事業所の経営動向を把握するため、四半期ごとに景況調査を実施しています。

令和3年4～6月期の調査がまとまりましたので、概要を報告します。

※本調査は、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業の5種200社を対象に行っています。今回の回収率69.0%

【主要な表現について】

○業況判断：調査対象企業が自らの業績に下した判断。

○DI値：(増加・好転と回答した割合) - (減少・悪化と回答した割合) 悪化すればするほどDI値は▲(マイナス)になります。

管内全産業の業況

業況判断の動向(表1)：全産業での業況は、DI値▲17.9で前回(2021年1月～3月)より20.8ポイント改善。卸売業は前回▲35.7ポイントから今回7.7ポイントで改善傾向を示しました。またサービス業は▲27.0ポイント、製造業は▲11.5ポイントとマイナス幅が縮小しました。

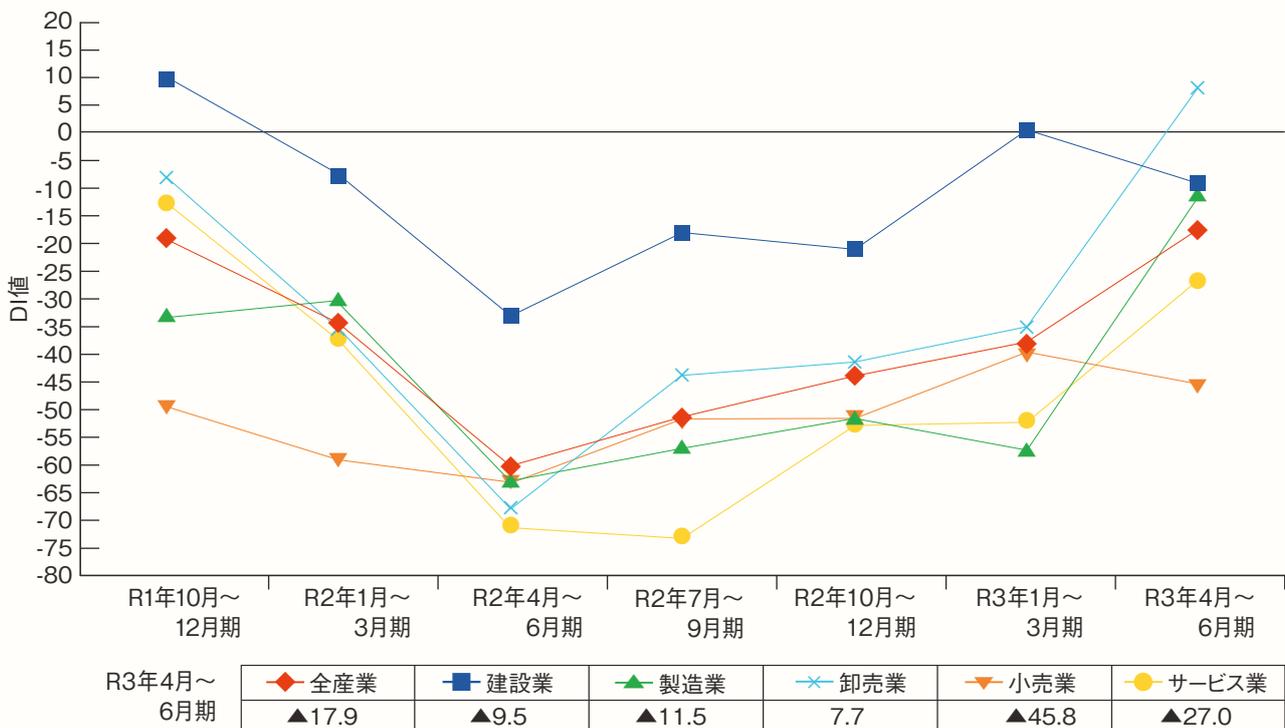
全産業売上高の推移：前回▲37.0ポイント(2021年1月～3月)から25.9ポイント改善しました。卸売業は15.4ポイント、その他産業は依然として足踏み傾向を示しました。

全産業資金繰りの動向：前回▲11.0ポイント(2021年1月～3月)から2.7ポイント改善しました。全産業で依然として足踏み傾向を示しました。

全産業採算の動向：前回▲38.4ポイント(2021年1月～3月)から12.5ポイント改善しました。卸売業は前回▲28.6から今回▲15.4ポイントとマイナス幅が縮小しました。

全産業雇用人員の動向：前回▲6.1ポイント(2021年1月～3月)から10.9ポイント改善しました。卸売業を除く産業で人手不足感が弱まりました。

表1 業種別業況判断の動向



問合せ先 藤枝商工会議所 経営支援課 TEL: 054-641-2000